

平成22年度8月補正予算の概要について

平成22年8月23日

(単位：千円)

一 予算規模

1 一般会計

補正額 1,059,060

補正後の規模 633,713,737

前年度8月補正後予算との対比 21,609,894
(3.3%減)

《補正予算の財源》

特定財源 1,050,000

繰入金 946,000

県債 90,400

その他 13,600

一般財源 9,060

繰越金 9,060

二 補正予算の主な内容

今回の補正予算は、緊急を要する事業として、経済対策に係る事業及び豪雨による災害関連事業について計上した。

《経済対策に係る補正》

住宅リフォーム緊急支援事業 846,000

住宅リフォーム等のニーズが高いことから、補助対象戸数を拡大する。

- ・対象工事 住宅の増改築・リフォーム工事で、県内に本店を置く建設業者等が施工するもの

(工事費50万円以上、設備機器購入のみの場合は除く)

- ・事業期間 平成22年3月～平成23年3月
- ・補助率 補助対象工事費の10%(限度額20万円)
- ・対象戸数 7,000戸 15,000戸

(積算根拠)	
当初予算	1,260百万円(7,000戸、1戸当たり180千円)
実績見込み	2,106百万円(15,000戸、1戸当たり141千円)
差引(所要額)	846百万円

環境対応車買換促進事業

100,000

環境対応車への買換が当初の見込みを上回ったことから、補助対象台数を拡大する。

- ・補助対象 初度登録年月が平成13年12月以前の自動車を買換し、平成22年6月30日までに登録した新車の購入費用
(補助申請期限：平成22年8月26日)
- ・補助率 値引き後の車両本体価格の5/100(限度額20万円)
- ・負担割合 県1/2 (社)日本自動車販売協会連合会秋田県支部1/2
- ・対象台数 9,000台 11,510台

(積算根拠)	
当初予算	355百万円(9,000台、1台当たり40千円)
実績見込み	455百万円(11,510台、1台当たり40千円)
差引(所要額)	100百万円

前年度までの実績(H21.1～H22.3)	補助申請期限は、新車登録後
補助台数 22,009台	40日以内(土日、祝日除く)
県補助金総額 872百万円	

《豪雨災害に係る補正》

災害救助対策費

9,060

床上浸水等の被災世帯への見舞金について、被災状況を踏まえ補正する。

(積算根拠)	
当初予算額	4,000千円(床上浸水20世帯相当)
4～8月(17日まで)所要額	9,060千円
・4月14日暴風災害	死者1名(男鹿市)
・7月10日豪雨災害	床上浸水(自家)1世帯(秋田市)
・7月17日豪雨災害	床上浸水(自家)1世帯(湯沢市)
・7月29日豪雨災害	床上浸水(自家)26世帯(仙北市)
	床上浸水(借家)1世帯(鹿角市)
・8月11日豪雨災害	床上浸水(自家)3世帯(湯沢市)
・8月14日豪雨災害	床上浸水(自家)8世帯(秋田市6世帯、由利本荘市1世帯、大仙市1世帯)
・8月17日豪雨災害	家屋全壊(自家)1世帯(大仙市)
今後所要見込額	4,000千円(床上浸水20世帯相当)
所要額(+ -)	9,060千円

給付額		
死者	1名当たり	600千円
家屋全壊(自家)	1世帯当たり	600千円
床上浸水(自家)	"	200千円
"(借家)	"	60千円

県単砂防事業

104,000

平成22年7月及び8月の豪雨による急傾斜地崩壊箇所等の対策工事を行う。

- ・実施箇所 急傾斜地崩壊対策(秋田市狐森地区、大館市猿間地区、北秋田市岩脇地区、仙北市角館町細越地区、井川町川向地区)
地すべり対策(男鹿市門前地区)
土石流対策(大仙市協和峰吉川地区)